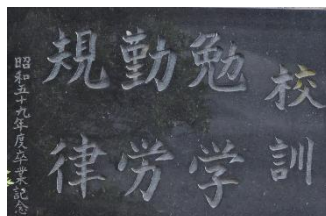


すみよし



都留第一中学校
学校だより
令和3年4月15日
令和3年度 No.2
発行 校長 跡部洋二

令和3年度 学校教育目標について

令和3年度の学校経営方針・学校教育目標が、次の通り決まりましたので、お伝えします。

令和3年度学校経営方針

新学習指導要領全面実施を迎え、先行き不透明な時代を一人ひとりの生徒が「生きる力」を育むために、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育成する。また、心豊かで健やかな体をもつ資質・能力を育成し、他者と協働し、主体的に学び続ける、自立した生徒の育成に努める。

1 校訓 勉学・勤労・規律

2 学校教育目標

教育基本法、学校教育法、教育委員会の示す規則等の理念を踏まえ、時代の求める人間像や地域の教育要望、生徒の実態を踏まえて、次の目標とする。

「自ら学ぶ、心豊かな生徒の育成」

主体的に学び、考え、行動する生徒（知）

自他を大切にし、自立心を持った生徒（徳）

生命を尊び、健康でたくましい生徒（体）

3 学校経営の重点

学習指導要領・県指導重点・市指針を基本にすえ、生徒の実態から本年度の経営重点を次のように設定する。

「自ら学ぶ、心豊かな生徒の育成」の学校教育目標を達成するための重点

(1)居心地がよく、一人ひとりに活躍の場がある学年・学級集団づくり(褒める・認める)

- ・学年・学級内のよりよい人間関係づくりを通して、いじめ・不登校・学力向上・特別支援教育の充実・自己肯定感・学校の信用・信頼等の教育課題を改善する。
- ・褒める活動を意識的に仕組み、互いに認め合う活動を通して、自己肯定感を高めることに努める。

(2)確かな学力の育成

- ・学習のねらいを明確にし、生徒を本気にさせる「学習課題」で、自分の考えを根拠に基づいて表現しながら、確かな学力(基礎的基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成・主体的に学習に取り組む態度の涵養)を育成する。
- ・家庭学習の習慣化を図り、自ら学び続ける態度を育成する。

(3)健やかな身体の育成

- ・「危険を予測し、自ら回避する能力の育成」を通して、健やかな心身の育成をする。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るとともに、教育相談等を組織的計画的に行うための校内体制を整備する。

- ・学校が安全・安心な場となるように努めるとともに、生徒自らも安全・安心な場の創造者となる姿勢や態度を育成する。

(4)豊かな心の育成

- ・出来事を自分自身の問題として捉え、多面的・多角的に考え、議論することを通して、人間の生き方について考えを深め、自立心の育成を図る。
- ・自分自身と同様に、他の人も大切に思いやりにあふれた心を育む。

(5)学校からの情報発信と家庭を含めた関係諸機関との連携

- ・学校だより等のたよりやホームページ等を利用し、学校からの情報発信に努める。
- ・カリキュラムマネジメントで成果と課題を明確にし、社会に開かれた教育課程を編成する。教職員・保護者・小学校・関係機関・地域の方々と連携し、PDCAサイクルを回しながら、学校の課題解決を図る。

4 目指す教職員像

- (1)生徒から学び、生徒とともに成長する教職員(学びに向かう姿勢)
- (2)生徒の可能性を信じ、協働し合う教職員(協働性)
- (3)心身ともに健康で、生徒の自己実現のために努力する教職員(健康、努力)

5 努力点 率先垂範(凡事徹底のモデルになる)

- (1)あいさつ
- (2)傾聴
- (3)時間を守る
- (4)清掃活動

新入生オリエンテーション

4月13日(火)の午後に、新入生オリエンテーションを行いました。例年は、全校生徒が体育館に集まり、開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、1年生のみを体育館に集め、2・3年生は教室でリモートでの参加としました。

最初に生徒会執行部の生徒から、「都留一中4つの規範」(あいさつ、時間、清掃、傾聴)やあいさつの仕方(先言後礼)などの日常生活の注意点を発表しました。その後、3年生の選抜チームによるソーラン節が披露されました。最後には、各部活動の紹介が行われました。

1年生は、先輩たちから中学校での生活や学習、部活動などについての説明を真剣に聞いていました。特に、ソーラン節の発表の迫力と、演者全員の息の合った動きを見て、先輩たちに対する尊敬の気持ちを新たにした新入生も多かったように感じました。今回のようなオリエンテーションで、先輩が後輩を指導することは、生徒同士の結びつきを深め、生徒自らがよりよい学校づくりを進めていこうという気持ちになり、都留一中の素晴らしい伝統の一つです。これからも大事にしていきたいと感じます。

